

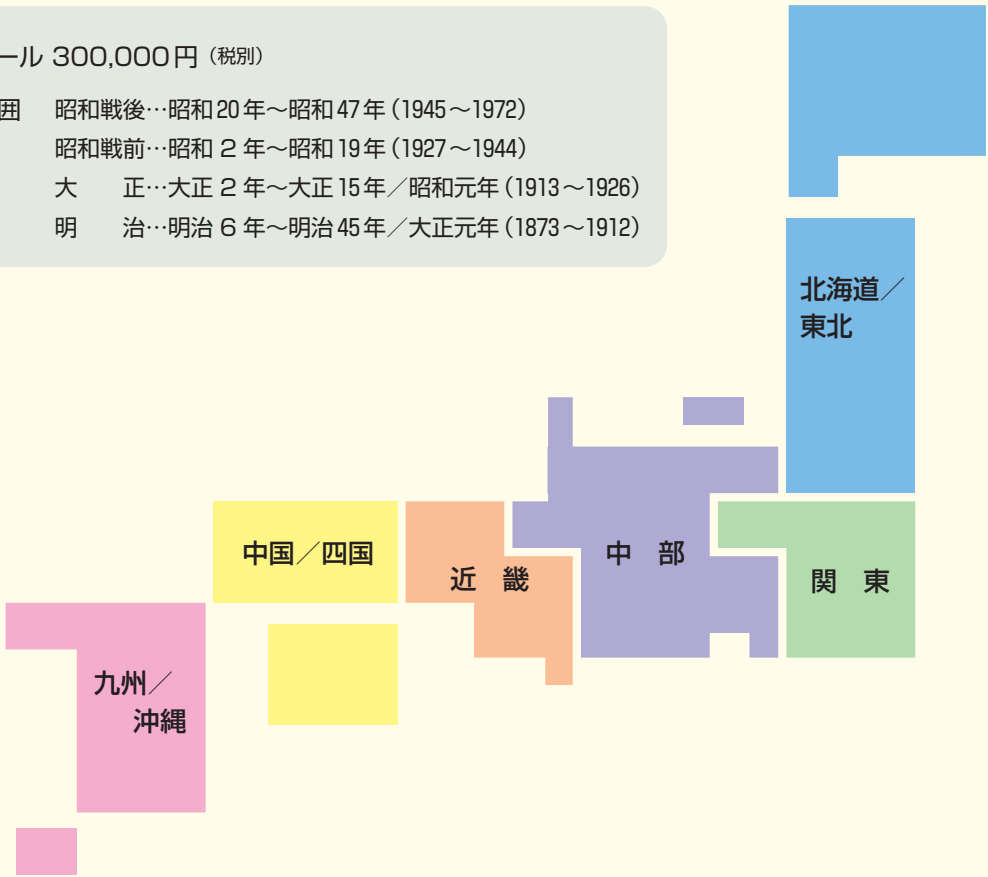
年代別収録明細

収録年代	地 域	モジュール No.	リリース時期
昭和戦後	北海道／東北	M 1	2014年 6月
	関東	M 2	2014年 2月
	中部	M 3	2014年 6月
	近畿	M 4	2014年 2月
	中国／四国	M 5	2014年11月
	九州／沖縄	M 6	
昭和戦前	北海道／東北	M 7	2015年 5月
	関東	M 8	
	中部	M 9	
	近畿	M10	2015年11月
	中国／四国	M11	
	九州／沖縄	M12	
大 正	北海道／東北	M13	2016年 5月
	関東	M14	
	中部	M15	
	近畿	M16	2016年11月
	中国／四国	M17	
	九州／沖縄	M18	
明 治	北海道／東北	M19	2017年 5月
	関東	M20	
	中部	M21	
	近畿	M22	2017年11月
	中国／四国	M23	
	九州／沖縄	M24	

地域別収録明細

地 域	都 道 府 県	モジュール No.	収録年代
北海道／東北	北海道、青森県、岩手県、宮城県、秋田県 山形県、福島県	M 1	昭和戦後
		M 7	昭和戦前
		M13	大 正
		M19	明 治
関 東	茨城県、栃木県、群馬県、埼玉県、千葉県 東京都、神奈川県	M 2	昭和戦後
		M 8	昭和戦前
		M14	大 正
		M20	明 治
中 部	新潟県、富山県、石川県、福井県、山梨県 長野県、岐阜県、静岡県、愛知県	M 3	昭和戦後
		M 9	昭和戦前
		M15	大 正
		M21	明 治
近 畿	三重県、滋賀県、京都府、大阪府、兵庫県 奈良県、和歌山県	M 4	昭和戦後
		M10	昭和戦前
		M16	大 正
		M22	明 治
中国／四国	鳥取県、島根県、岡山県、広島県、山口県 徳島県、香川県、愛媛県、高知県	M 5	昭和戦後
		M11	昭和戦前
		M17	大 正
		M23	明 治
九州／沖縄	福岡県、佐賀県、長崎県、熊本県、大分県 宮崎県、鹿児島県、沖縄県	M 6	昭和戦後
		M12	昭和戦前
		M18	大 正
		M24	明 治

- 1モジュール 300,000円（税別）
- 年代の範囲 昭和戦後…昭和20年～昭和47年（1945～1972）
昭和戦前…昭和2年～昭和19年（1927～1944）
大 正…大正2年～大正15年／昭和元年（1913～1926）
明 治…明治6年～明治45年／大正元年（1873～1912）



オンライン版

都道府県統計書データベース

Prefectural Statistics Online

収 録 内 容：都道府県統計書・・・約90万画像、150万レコード（1873年～1972年）
資料の収録形式：JPEG化された画像 ※ご要望に応じてバックアップデータをお付けいたします。
検 索：表題、都道府県、分類、対象年
モジュール数：24モジュール
価 格：1モジュール 300,000円（税別）
プラットフォーム：J-DAC ジャパン デジタル アーカイブズ センター
※ 画像は原資料の劣化等により、一部不鮮明な場合がございます。

完全買切り型（ご購入後のプラットフォーム利用料、年間維持費用は不要です）

1 ヶ月の無料トライアルが可能！

都道府県統計書データベース (Prefectural Statistics Online)

無料トライアル申込フォーム

下記にもれなくご記入のうえ、Fax 03-6367-6188 までお申し込みください。
◆E-mail での申し込みの場合は、下記と同様の事項を本文にご記載の上、kenkyushien@maruzen.co.jp までご送信下さい。

ふりがな	氏 名	所属・肩書	
電 話		E-mail	
ご要望	☐ 図書館を通じ、全学でのトライアルを設定して欲しい（1 カ月） ☐ 個人トライアルを設定して欲しい（1 カ月）		
利用開始日		IP アドレス	* 図書館からのお申し込みの場合ご記入ください

小社 HP からもお申し込みが可能です <http://myrp.maruzen.co.jp/book/psol/>

ご記入頂いた情報は、ご希望トライアルの設定並びに弊社よりの商品・催事のご案内に際してのみ使用いたします。
弊社個人情報保護方針の詳細は <http://yushodo.maruzen.co.jp/privacy.html> をご覧下さい。

MARUZEN-YUSHODO 丸善雄松堂株式会社

学術情報ソリューション事業部 研究支援統括部業務支援部 販促グループ <http://yushodo.maruzen.co.jp/>
〒105-0022 東京都港区海岸 1-9-18 国際浜松町ビル Tel:03-6367-6025 Fax:03-6367-6188 e-mail: kenkyushien@maruzen.co.jp

マイクロフィルム版を完全データベース化
横断検索により利便性が飛躍的に向上！

オンライン版

都道府県統計書データベース

Prefectural Statistics Online

明治初年～昭和47年 90万画像 150万レコード

明治時代の各都道府県の米の生産量の推移は？
昭和30年代の関東地方の労働賃金の平均は？
戦前の福井県内の教員数（男女別・年齢別）採用状況は？
大正時代の各都道府県における神社仏閣の数は？
戦前の物価が分かる資料とは？

都道府県統計書データベースを使えば全て解決

未知をひらく、
これからも。
150th

J-DAC

ジャパン デジタル アーカイブズ センター

Japan Digital Archives Center

歴史／教育／経済／経営／法律／商業／政策／医療／社会保障 etc.

あらゆる分野を都道府県別に検索できるデータベース

都道府県統計書とは？

各都道府県が明治以降毎年刊行してきた各管轄区域の人口、農業、工業など様々な項目についての統計書です。明治6～7年頃の「一覧表」に始まり、明治17年の内務省「府県統計書様式」によって様式が統一され、昭和16～17年頃まで刊行、戦後は昭和22～23年頃から復刊されました。全国規模の統計年鑑等と比べ項目が細分化しており、また県の統計書だけに記載されたデータも収録されるなど、当時の社会経済・財政・教育などの事情を知る上で見逃せない基本資料です。

都道府県統計書データベースの流れ



おすすめ

地域偏差を解明するデータを一瞬に

一橋大学経済研究所教授 佐藤 正広

都道府県統計書は、1883（明治16）年に当時の内務省が様式を定めたところから始まり、第二次大戦前後の一時期を除いて、全国の都道府県で今日に至るまで刊行が続けられている総括統計書である。内容的には、土地、気象と言った地理的なものに始まり、人口、教育、経済、社会政策、金融、財政、行政、司法など非常に広範囲にわたる数値情報を含む。

こうした内容を持つ都道府県統計書は、これまでも経済史をはじめとする各研究分野で基礎資料として用いられてきた。ただ、その利用に当たっては、実は非常に大きな労力が伴うのが普通である。この統計書は単年度かつ単一の都道府県についての統計集であるため、あるデータ、例えば人口についてその年次の変化を追おうと思えば、膨大な統計書の山を前に、一冊ずつ頁をめくって必要な表をコピーする、あるいはマイクロフィルムリーダーに向かって延々と必要な表を探し続けなくてはならない。これは実に気の遠くなるような作業である。私もそうした作業をしてきたひとりである。

このたび「都道府県統計書データベース」がオンラインで公開されるという。このデータベースには、8000冊もの統計書に掲載された統計データが、表単位で画像化されて収録されている。利用者は、適切なキーワードを入力することで、必要な表を瞬時にして一覧リストとして入手し、ダウンロードできる。例えば、新潟県で年次を定めずに「米」と検索すれば、明治時代から今日に至るまでの「米」に関する統計表がすべて列挙される。また、対象地域を全国あるいは一定の地方にして、特定年次について「賃金」を検索すれば、これらに関する地域的偏差を解明する基礎になるデータが一瞬にして得られるという仕組みである。

このデータベースの出現によって、従来労力の面でほとんど不可能であったような研究が、可能になっていく、そのような期待を抱いている。

Point 1 表単位で付与されたメタデータ

各統計書をそれぞれの目次をもとに階層的に体系化、表の一つ一つにメタデータを付与することで表単位での検索が可能に！

XIII. 労働および賃金

128. 職業紹介の状況………293

(1) 常用労働者………293

a. 男女別求人数、求職者数および就職者数（昭和27～36年）………293

b. 男女別求人数および紹介数（昭和30～36年）………293

c. 職業別男女別求人数および求職者数（昭和36年9月）………294

d. 産業（大分類）別男女別求人数および就職者数（昭和36年）………296

(2) 日雇労働者………296

a. 事業別就職状況………296

b. 失業対策事業実施事業別日雇労働者就職状況………298

(b) 紹介適格者………298

c. 特別失業対策事業………299

d. 臨時就労対策事業就労状況………300

対象年	刊行名	項目	番号	タイトル1	番号	タイトル2	番号	タイトル3	番号	タイトル4
1961	東京都	労働および賃金	128	職業紹介の状況	1	常用労働者	a	男女別求人数、求職者数および就職者数（昭和27～36年）		
1961	東京都	労働および賃金	128	職業紹介の状況	1	常用労働者	b	男女別求人数および紹介数（昭和30～36年）		
1961	東京都	労働および賃金	128	職業紹介の状況	1	常用労働者	c	職業別男女別求人数および求職者数（昭和36年9月）		
1961	東京都	労働および賃金	128	職業紹介の状況	1	常用労働者	d	産業（大分類）別男女別求人数および就職者数（昭和36年）		
1961	東京都	労働および賃金	128	職業紹介の状況	2	日雇労働者（昭和36年）	a	事業別就職状況		
1961	東京都	労働および賃金	128	職業紹介の状況	2	日雇労働者（昭和36年）	b	失業対策事業実施事業別日雇労働者就職状況		紹介適格者
1961	東京都	労働および賃金	128	職業紹介の状況	2	日雇労働者（昭和36年）	b	失業対策事業実施事業別日雇労働者就職状況		紹介適格者以外の者
1961	東京都	労働および賃金	128	職業紹介の状況	2	日雇労働者（昭和36年）	c	特別失業対策事業		
1961	東京都	労働および賃金	128	職業紹介の状況	2	日雇労働者（昭和36年）	d	臨時就労対策事業		
1961	東京都	労働および賃金	128	職業紹介の状況	2	日雇労働者（昭和36年）	e	失業対策事業指定公共事業就労状況		

詳細表示

サムネイル一覧

資料の詳細

資料画像閲覧

ご契約なしでいつでもどこでも検索が可能！

その利便性をぜひご体験ください

Point 2

独自につくりあげた 24 分類

明治 17 年に当時の内務省が出した「統計書様式」から現在の総務省が採用している分類方法までを包含した独自の分類方法を考案・採用。全ての表を一貫した分類方法で仕分けすることで地域・年代を超えた網羅性を実現！

j-dac 都道府県統計書

検索

<http://j-dac.jp/RISA/>

例：社会保障で検索すると…

24 分類一覧

土地・気象	水産業	金融	教育
人口	鉱工業	物価・家計	文化・観光
労働・賃金	土木・建設・住宅	財政	公務員・選挙
事業所	電気・ガス・水道	経済	司法・警察
農業	運輸・通信	社会保障	災害・事故・消防
林業	商業・貿易	保健衛生	軍事・防衛

これらの分類に該当する表を地域・年代を問わず一括検索

Point 3 ユーザ行動にもとづく直感的な UI 設計

検索結果が表ごとに表示される表題表示と表が冊子の単位で集約された状態で表示される資料名表示をワンクリックで切り替え、冊子を地域や年代からにスムーズに探し出すことのできる刊行一覧検索など、検索時のストレスを軽減したユーザーインターフェース。

おすすめ

解き放たれたシジフォス

『オンライン版 都道府県統計書データベース (PSO)』の衝撃—

成蹊大学経済学部教授 松本 貴典

私は今まで最もマイクロフィルム版『府県統計書』を利用してきた研究者の一人であろうと思う。100年前の全国流通地図を共同研究で造ったとき、近代日本の県民所得推計を行ったとき、『府県統計書』は基礎中の基礎資料であった。だから、マイクロフィルムを1枚1枚プリントアウトすることは避けては通れない作業であったのだが、作業中は「シジフォスの労働」という言葉が頭から離れなかった。前者を発表した本のあとがきに「プリントアウトを積み上げると150cmほどにもなった」とある。試みにこれを枚数換算すると17,000枚ほどになり、B4用紙に印刷したこれを重量換算すれば100kgを超える。出力時間を1枚あたり短く見積もっても90秒とすると、150cmまで積み上げるためには425時間の時間を使ったことになる。17日と17時間である。そんなに長い間、シジフォスが岩を運び上げるその隣で、私はMFリーダーのボタンを押し続けていたというのか。しかし、イノベーションの登場はいつも突然である。しかも、その効果は圧倒的に強力である。われわれはもうシジフォスの労働から解き放たれる。あのような作業はもう過去のものになるのだ。

雄松堂が今回リリースする『オンライン版 都道府県統計書データベース (PSO)』が研究者にもたらす最大の福音は、サーチ時間の劇的短縮である。このデータベースには、メタ・データが細やかに作り込まれてあって——つまりすべての表のタイトルがインデックスされていて——見たい統計は即座に検索できる。検索結果をクリックすれば、もうモニターに目的の統計が画像 (JPG) として鮮明に表示されている。詳細は避けるが、その鮮明さは、オフセット印刷のレベルなど軽く超えた、高精細印刷に相当する。ということは、クロスセクションであろうが、タイムシリーズであろうが、パネルデータであろうが、データセットを組み上げるのに、今までのように何ヶ月単位、何年単位で考える必要などもうなくなり、所要時間は何日までに劇的に短縮できるであろう。ならば、PSOの使用によって必然的に生じるのは、研究内容が「忍耐」で評価されるのではなく、「コンテンツ」そのもので評価されるという一大変化では必ずである。

経済史研究にも「ビッグデータ」の波は到来する。PSOは、地域経済のダイナミズムを明らかにする扉を開き、新たな研究のフロンティアを指し示す鍵である。産業史、物価史、人口動態史、とにかくPSOのメタ・データごとに、研究者は新しい研究ができるのである。PSOは豊饒を約束する。お勧めする。